

ふんわりボールで「金の卵」育成

日本テニス協会(渋谷区)は、小型で軽いラケットとスポンジ製のボールを使った「キッズテニス」を、全国の幼稚園や小学校の授業などを活用して普及させる取り組みを始めることを決めた。今年度は都内などで試験的に実施する予定で、練習や指導の方法などを伝授する講習会も七月に中央区内で開く。

キッズテニス 売り込み作戦

日本テニス協会 幼稚園・小学校に指導者・用具

キッズテニスは、コートの広さが普通のテニスの約四分の一、ネットも低く張られている。米国やスウェーデン、ベルギーなどで広く普及し、

多くの優秀な選手が登場する。子どもはころからキッ

ズテニスに親しんでいるためとされる。

今年度は東京や静岡などで試験的な取り組みを行うほか、アンケートも行って受け入れを希望する幼稚園や小学校を調査、来年度から本格的に取り組みを始めて二〇〇六年三月までには全国五百か所

で実施したいとしている。同協会は「子どもたちの体力低下に歯止めをかけ、世界に通用する選手を育成すると同時に、あいさつもきちんとでき、人間としてのマナーも身につけた人材を育成していきたい」と話している。

同協会は「子どもたちの体力低下に歯止めをかけ、世界に通用する選手を育成すると同時に、あいさつもきちんとでき、人間としてのマナーも身につけた人材を育成していきたい」と話している。詳細は、同協会のホームページ(<http://jta-tennis.or.jp>)を見るか、同協会「幼稚園・小学校テニスプロジェクト」担当(☎03・3301・5266)へ問い合わせる。



指導を受けながら、「キッズテニス」の練習に励む子どもたち(昨年11月、中央区で)